

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メヤス

○議長（伯爵松平賴壽君） 議事日程ニ移リ
マス、日程第一、請願委員長報告、伯爵酒井忠克君

〔伯爵酒井忠克君演壇ニ登ル〕

致シマス、去ル一月五日、第一回ノ御報告

ヲ致シマシタ以後ノ分ニ付キマシテ、茲ニ御報告ヲ致シマス、其ノ後受領致シマシタ請願ノ總數ハ百九件デアリマシテ、之ガ連

署人數ハ三萬九千八百七十二名デアリマス、

タ文書表未掲載ノモノ五件トヲ合セマシテ
百十四件ト相成リマス、此ノ百十四件ノ内
譯ラ致シマスト、文書表掲載ノモノ九十九
件、未掲載ノモノ十五件ゴザイマス、此ノ
九十九件ト第一回報告ノ際ニ申上ゲマシタ
文書表掲載ノ中、尙存迄終了ニ至ラトカツ

文書表打車ノ中、荷箱査総丁ニ至テ大ガモノ二十五件トヲ合セマスト、合計百二十一

四件ゴザイマス、以上ノモノト第一回報告トノ累計ハ請願書受領件數ガ百四十五件、其ノ連署人數ガ四萬九千五百一名デゴザイマス、而シテ請願文書表掲載件數百三十件、

未掲載十五件ト相成ッテ居リマス、第一回
報告後ノ請願分科會ヘ、第一分科ガ三回、

第二分科四回、第三分科四回、第四分科三

回、合計十四回開會致シマシタ、請願委員會ハ二月十二日、十八日、二十五日ノ三回開會致シテ居リマス、委員會ニ於キマシント

モノ三十八件、議院ノ會議ニ付スルヲ要セ
ズトスルモノ四件デゴザイマス、以上ノ件
數ハ既ニ本議場ニ報告致シマシタモノモ合
シマシタ總計數デゴザイマシテ、本日茲ニ
御報告シマスモノガ二十二件デアリマス、
其ノ中議院ノ會議ニ付スベシトスルモノ十
八件、議院ノ會議ニ付スルヲ要セズトスル
モノ四件デゴザイマス、以上ハ委員會ニ於
キマシテ何等異議ナク、分科會決定通り議
決相成ツク次第デゴザイマス、是カラ右
ノ議院ノ會議ニ付スルヲ要セズト致シマシ
タ四件ニ付キマシテ、委員會ニ於キマスル
審査ノ經過ニ付キマシテ簡單ニ之ヲ述
ベテ見タイト思ヒマス、第一ハ、第四十九
號元屯田兵ノ救恤金ニ關スル件デゴザイ
マス、是ハ昭和十二年ニ陸軍省告示第二十
四號ヲ以テ、元北海道屯田兵ノ救恤金
給與規程ガ發布ニナッタノデアリマスガ、
之ガ恩典ニ沿シナイ者モアルカラ、公平ニ
ナルヤウニ左ノ三點ニ付テ改正ラシ、其ノ
恩典ニ沿スルヤウニシテ貴ヒタイト云フノ
デアリマス、第一點ハ服役年限ガ三年ニ滿
タナイ者モ此ノ恩典ニ與リタイト云フノデ
アリマス、第二點ハ遺族ガナイ場合ニ於
テ、其ノ家ノ正當ナル相續者ニ救恤金ヲ給
與セラレタイト云フノデアリマス、第三點
ハ明治三十七八年戰役ニ戰死セシ者ノ遺家
族及傷痍軍人ニモ資格ヲ與ヘテ戴キタイト
云フノデアリマス、第一點ニ付キマシテハ
屯田兵ノ現役ハ最モ短イモノデモ三年デア

リマシテ、三年ニ満タナイ者ハ屯田兵トシリマス、テノ服役義務ノ最小限ヲ盡サナイ者デアリマスルカラ、其ノ關係カラ賜與セラレナイ項ハ削除サレナイノデアリマス、第二ハ、此ノ資金ノ性質ハ多分ニ一時恩給的意義ヲ持ツモノデ、其ノ服役年數ニ應ジテ賜與セラレルガ故ニ、支給資格者ハ元屯田兵デẤタ者、又ハ屯田兵ノ遺族ト云フコトニ限定シテ、恩給法上ノ遺族ナル概念ヲ適用シテアルノデアリマス、本賜金ハ昭和五年ノ兵役義務者及廢兵ノ待遇審議會ノ答申ノ趣旨ニ基イテ、恩給支給ノ恩典ニ浴セナイン者、屯田兵ニ對シ何等カノ恩典ニ浴セシメテ、屯田兵ノ恩給問題ニ關スル最後ノ解決ヲシヨウトシタモノデアリマシテ、從ツテ屯田兵デẤタ爲ニ、既ニ年金タル恩給ヲ受ケテ居ル者ニ對シテハ給與シナイノデアリマス、又日露戰爭ノ從軍後、扶助料、或ハ傷痍年金等ヲ受ケテ居ル者ハ、假令一般ノ召集兵トシテ應召セル者デモ、以前屯田兵ナリシ故ヲ以テ應召シタ者ト解シテ、規定第三條第一項ニ依ル資格ハナイノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、此ノ請願ノ要求ハ法規上給與シ兼ネルモノデアリマス、第二ニハ、第五十三號、幾春別、唐松ノ兩驛間ニ停車場設置ノ件デアリマス、此ノ要求ハ法規上給與シ兼ネルモノデアリマス、ハ近時工業ノ發展ニ伴ヒ人口モ增加シ、物資ノ集散モ著シイカラ、此處ニ乗降客取扱停車場ヲ設ケテ吳レト云フノデアリマス、

モシテ見タガ、今ノ處驛ヲ設置スル考ハナ
イト云フノデアリマス、尙旅客小荷物ダケ
ヲ取扱フ、所謂簡易驛ヲ設置スルト、驛手
二名位ヲ配置スルトシテモ、差引キ年千圓
以上ノ缺損ニナルノデアリマスカラ、此ノ
請願ニヘハ、昭和十年度ニ乗降取扱驛ヲ設置
セラレタイトアリマスカラ、是ヘ到底不可能
デアルト見マシテ、委員會ニ於テ不採擇ト
決定致シタ次第デアリマス、次ハ第三、第
七十四號、二十五歳未滿者飲酒禁止法制定
ノ件デアリマス、此ノ請願ノ趣旨及理由ニ
付キマシテ、請願者ハ五ツノ點ヲ擧ゲマシ
テ述べテ居リマスガ、其ノ要點ハ文書表ニ
依ッテ御覽ヲ願ヒタトイ思ヒマス、若シ假ニ
此ノ法律ガ制定セラレマシテモ、二十五歳
ノ青年迄取締ルト云フコトハ絶對ニムツカ
シイノデハナイカ、既ニ未成年者ノ飲酒禁
止法ニ依ッテモ昭和十一年ニ於ケル違反事
件ノ數ハ二萬五千九十一件モアツタノデ
アリマス、其ノ中大部分ハ説諭ニ止メテ科
料ニ處セラレタ者ハ僅カニ九十八件位デア
リマスガ、是ハ當局ニ於テモ成ルベク違反
必罰主義ヲ採ラナイデ、專ラ自發的ニ改過
遷善ヲ促スト云フ方針ヲ採ラレタカラデア
リマスガ、此ノ外ニマダ違反件數ト云フモ
ノハドレ位アルカ想像ガ付カナイノデゴ
ザイマス、若シ是ガ二十五歳迄ノ未成年者ヲ
取締ルト云フコトニナルト、到底完全ニ行
フコトハ出來ナイデアラウト思ハレルノデ
アリマス、元々飲酒ハ多ク家ノ中デ行ハレ

ルモノデ、其ノ取締ハ非常ニ困難デアリ、運動モスレバ其ノ徹底ヲ期スル爲ニハ警察權ニ依ッテ過度ニ私生活ニ干渉スルト云フ結果ニナリ易イノデアリマス、未成年者ノ飲酒ヲ取締ルノニサヘ困難デアルノニ、二十歳迄取締ルト云フコトニナレバ、一層困難ニナリ、到底法ノ厲行ヲ期スルコトガ出来ズ、結局法ノ威信ヲ失墜スルコトニナリヤセヌカ、是ガ委員會ニ於テ此ノ請願ニ贊成シ難イ一點デアリマシタ、現行法ハ禁酒ヲ未成年者ノミニ止メテ居ルノニ、飲酒ノ害ハ心身ノ發達十分ナラザル未成年者ニ於テ殊ニ甚ダシク、且惡イ習癖ヲ生ズルノハ殊ニ二十歳前ヨリ始メタ者ニ多クアルヤウニ思ハレル、優生學上カラデモ矢張リ若イ時ニ始メタ癖ト云フモノハナカ直ラナイモノデアリマス、其ノ惡習ニ染マル弊害ハ、成年期前ニ於テ防遏スルコトガ最モ緊要ノコトデアルト云フ一委員ノ御發言デゴザイマシタ、斯ウ云フ見地カラ現行法ハ未定年者ニ限テ禁酒ヲシテ居ル譯デアリマス、要スルニ飲酒ノ害ヲ防止スルニハ教育教化ノ力ニ依ッテ行フノガ適當デハナイカト云フノガ第一點デアリマシタ、委員會ニ於テモ本請願ノヤウニ飲酒ガ常習慣デナク、又過度ノ飲酒ガ保健衛生上有害デアルコトハ勿論デアルカラ、本請願ニ述ベテアルヤウナ趣旨ニハ賛成デアルガ、取締ノ點ト云フノガ第一點デアリマシテ、本請願ハ不採擇ト決定致シマシタ、第四ハ第七十八號伯備線生山、上石見兩驛間ニ停車場設置ノ

件デゴザイマス、此ノ請願ニ付テ、政府當局トシテモ一應ハ調査シタコトモアルガ、同地方ハ人口ガ稀薄デ、其ノ上ニ產業トテノ計畫ハナイト云フコトデアリマス、而シテ此ノ請願書ニハ昭和十三年度ヨリ設置セラレタイトアリマスルカラ、是ハ遺憾ナガラ不採擇ト決定致シマシタ、以上ノ四件ハ委員會ニ於キマシテハ何等異論ナク、分科會決定通り不採擇ト決定致シタ次第デアリマス、以上ハ三月一日午後四時迄締切ノ御報告デアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、商業組合法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長植村子爵
(左ノ報告書ハ朗讀ラ經サルモ参考ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ)
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也
昭和十三年三月一日
貴族院議長伯爵松平賴壽殿
○子爵植村家治君演壇ニ登ル
委員長 子爵植村 家治
商業組合法中改正法律案、委員長報告ヲ申上ゲマス、先づ此ノ特別委員會ノ經過ヲ申シマスレバ、去ル二月十五日正副委員長ノ丸トシテ其ノ機能ヲ十分發揮セシメ、經濟五選ヲ行ヒマシテ、其ノ翌日ヨリ前後七回ニ瓦リ、右提案ノ理由ヨリ其ノ逐條ニ付テ、

政府御説明ヲ願ッテ慎重審議ヲ致サレタノデゴザイマス、其ノ理由トスル處、後段質問ノ經過ヲ御話シ申ス關係上、大略申上テモ見ルベキモノガナイカラ、今ノ處置設置ノ計畫ハナイト云フコトデアリマス、而シテ此ノ請願書ニハ昭和十三年度ヨリ設置セラレタイトアリマスルカラ、是ハ遺憾ナガラ不採擇ト決定致シマシタ、以上ノ四件ハ委員會ニ於キマシテハ何等異論ナク、分科會決定通り不採擇ト決定致シタ次第デアリマス、以上ハ三月一日午後四時迄締切ノ御報告デアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、商業組合法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長植村子爵
(左ノ報告書ハ朗讀ラ經サルモ参考ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ)
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也
昭和十三年三月一日
貴族院議長伯爵松平賴壽殿
○子爵植村家治君演壇ニ登ル
委員長 子爵植村 家治
商業組合法中改正法律案、委員長報告ヲ申上ゲマス、先づ此ノ特別委員會ノ經過ヲ申シマスレバ、去ル二月十五日正副委員長ノ丸トシテ其ノ機能ヲ十分發揮セシメ、經濟五選ヲ行ヒマシテ、其ノ翌日ヨリ前後七回ニ瓦リ、右提案ノ理由ヨリ其ノ逐條ニ付テ、

ノ發行ニ關シテハ、其ノ手續等ノ問題、之ニ伴フ弊害除去等如何トノ問ヒニ對シ、政府ハ前者ハ内外ノ經濟狀態ノ變遷ニ從ツテ、國民經濟全體ノ立場ヨリ單一業種ノ基調ニ重點ヲ置イテ本法ヲ改正シタノデ、異ナル隨分疲憊困憊シテ居ル者モアリマス、其ノ由ツテ來ル所以ノモノハ、或ハ百貨店ノ進出、或ハ地方的ノ諸產業組合ノ運用宜シキテ置キマス、即チ現下中小商業者ノ中ニハ、テ得ザル等、複雜ナル原因ニ依ルト雖モ、改善ヲ圖ラムトシテ此ノ商業組合法ヲ改正シテ、其ノ事業ノ範圍ノ擴張ヲ爲スト同時ニ、統制確保ノ方法ヲ考ヘテ、之ガ整備ニ依リ我ガ國民經濟ノ健全ナル發達ノ上ニ貢獻セムト、本案ノ提出ヲ見タノデアリマス、事業擴張シテヘ、百貨店ニ對シマシテ組合ニモ、商品券、倉荷證券ノ發行ヲ許サセ、之ニ依ツテ商品ノ購入ノ促進ヲ圖リ、他方金融上ニ大キナ效果ヲ得サセヨウト云フノガ要點デアリマス、之ニ伴フ弊害除去等ノ統制命令ニ可ナリ強制的ナ規定ヲ定メマシテ、他ノ統制機關ト並行シテ、有效適切ニ全國的ニ考ヘラレテ居リマス、質問ニ入リマシテ、本法組合以外ニ重要物產組合ノ爲、經濟統制ヲ相當業界ニ盡シ來リタルモノガアリマス、之ヲドウスルカ、打ツテ一丸トシテ其ノ機能ヲ十分發揮セシメ、經濟情勢ノ變化ニ適應セシメ特ニ統制強化ニ協力シ得ル様速ニ適當ノ方策ヲ講ゼラレシコトヲ望ム

以上ニ依リ本組合法中改正法律案全部ハ、全會一致可決セラレマシタ結果ト相成リマ

○議長（伯爵松平頼壽君）　御異議ナイト認
ヌマス

○議長(伯爵松平頼喜君) 別ニ御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀
會ヲ開クコトニ御異議ガゴザイマセヌカ

○議長（伯爵松平賴尊君）　本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長（伯爵松平頼壽君）　御異議ナイト認
メマス

○子爵清岡長言君 直チニ本案ノ第一讀會
ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長（伯爵松平賴壽君）　日程第三、國民
健康保険法案政府提出、衆議院送付、第一
讀會ノ續、委員長報告、委員長川村伯爵

○議長(伯爵松平頼壽君) 清岡子爵ノ勧議
ニ御異議ガゴザイマセヌカ

國民健康保險法案

○議長（伯爵松平頼壽君） 御異議ナイト認
メマヌ

報告候也

○議長（伯爵松平賴満君） 本案ノ第二讀會

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

供シマス、本案全部、委員長ノ報告通リテ
御異議ガゴザイマセヌカ

國員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、去
ムレニ二月ノ十九日以來五回ニ亘リマシテ寺

○議長（伯爵松平賴壽君）御異議ナイト認
ヌマス

別委員會ハ開會セラレマシタ、其ノ間懇談會ヲ交ヘマシテ、慎重審議、政府ノ提案ニ

○子爵清岡長言君 直チニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

付テ質問カ經行セリタノテアリマス。昨日ニ至リマシテ討論ニ入リマシテ、全會一致ノ以ニ比ノ案ヲ可決致シマシタ次第デビザ

○子爵秋田重季君 贊成

イマス、是ヨリ本案ノ提出ノ理由其ノ他質問ニ對シテ、概要ヲ申上ゲテ見タイト思ヒ

ニ御異議ガゴザイマセヌカ

マス、先づ本案ノ骨子ト致シマス所ヲ申上
ゲマスト、從來農村等ニ存在致シマス所ノ

隣保相助及郷土團結ノ精神ヲ基礎ト致シ
マシテ、原則トシテ自治的組合タル國民保
險組合ヲ設置致シマシテ、之ヲシテ國民
保險事業ヲナサシヌ、其ノ共同ノ力ト平素
ノ用意、即チ保險組合ノ保險的方法ニ依リ
マシテ、農山漁村ノ居住者其ノ他一般國民
ノ傷病等ニ因ル經濟的負擔ヲ輕減シ、生活
ノ安定ヲ期スルト共ニ、醫療ヲ普及シ、其
ノ健康ノ保持増進ニ資セムトスルモノニア
リマス、而シテ本保險ノ經營者即チ保險者
ハ、原則ト致シマシテ自治的組合タル國民
健康保險組合デアリマスガ、農山漁村ノ實
情ニ鑑ミマシテ、營利ヲ目的トシナイ社團
法人ニシテ、其ノ社員ノ爲ニ醫療ニ關スル
施設ヲナス者ニ付テハ、一定ノ條件ヲ具備
シテ、本事業ヲ完全ニ遂行シ得ル能力ヲ有
スル者ト認メラル、者ニ對シマシテハ、例外
トシテ監督官廳ノ許可ヲ受ケ、國民健康保
險組合ノ事業ヲ行ヒ得ルコトニ致シテアル
ノデアリマス、次ニ本事業ノ内容ニ付キマ
シテハ、被保險者タル組合員ト其ノ世帯員
ノ疾病又ハ負傷ニ關シマシテハ、診療治療
等保險給付ヲ爲スコトヲ原則トシテ居ルノ
マシテハ、地方ノ實情ニ應ジマシテ、適切
デアリマスガ、保險給付ノ種類、範圍、程
度、保險料ノ額等、事業ノ内容事項ニ付キ
ナル事業ノ運營ヲナサシメル爲ニ、政府ノ
指導監督ノ下ニ、組合ヲシテ自治的ニ決定
セシメルコトトナツテ居ルノデアリマス、尙
本制度ノ趣旨及目的ニ鑑ミマシテ、組合ノ

金ヲ交付スルコトニナツテ居リマスガ、國庫補助金ノ豫算ハ組合設立初年度及二年度へ一人當リ一圓デアリマシテ、三年度及四年度ニハ七十錢、五年度以降ニハ五十錢ヲ標準致シテ計上サレテアリマス、是ヨリ質問ノ主ナルモノニ付テ一應御紹介シテ見タイト思ヒマス、本法案ニ關聯致シテ國民ノ保健衛生ニ對スル施設トシテ、厚生省ハ如何ナル對策ヲ持ツテ居ルカト云フ質問ガゴザイマシタ、又國民中ノ必要ノ部分ヲ大體包含スル程度ニ至ッタナラバ、ソレデ十分デアルカト云フ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ、本法案ハ從來醫療ニ惠マレナイ農村、其ノ他ノ方面ニ於テ相扶共濟ノ精神ニ基イテ、醫療ヲ普及シ、均霑サセルト云フ趣旨デアルノデアツテ、厚生省ノ目的トシテ居ル國民體位向上ノ問題ニ付テハ、本法案ガ重要ナル使命ヲ有シテ居ルト云フコトハ勿論デアルケレドモ、決シテ是ノミヂテ十分ダト云フコトハナイノデアル、疾病ノ豫防ト治療ノ徹底、醫藥制度ノ改善、優生、營養、國民體力、體質ノ改善等、徹底的ニ綜合的ノ計畫ヲ立てテ、之ヲ實行スル考デアルト云フ答辯アリマシタ、次ニ現在ノ時勢ニ鑑ミテ、國庫補助金ノ豫算ガ少イデハナイカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ、本制度ヲ普及徹底スルニハ其ノ最初ガ大事デアル、懇切ニ指導監督シテ、最も普及發達ヲ圖ルコトガ最モ必要デアル、

ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

市町村立小學校教員年功加俸令改正ニ
關スル件

北海道空知郡三笠山村長村田雲助呈
出

右ノ請願ハ市町村立小學校教員ハ幼弱兒
童ノ保育養護等國民教育ノ大任ニ服スル
モノナルニ拘ラス年功加俸ニ於テハ公立
學校職員ト異リ其ノ支給ニ關シテハ地方
長官ノ自由裁量ニ委ネラレ且府縣ニヨリ
厚薄アルハ國民教育進展上甚遺憾ナルニ
依リ速ニ市町村立小學校教員加俸令ヲ改
正シ公立學校職員ノ年功加俸ト同様ノ待
遇ヲ與ヘ以テ小學校教員ノ資質向上ヲ圖
ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ
大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村救濟ニ關スル
件

東京府西多摩郡小河内村原五百九十
三番地土木請負業小澤康次外三百三
十八名呈出

右ノ請願ハ東京府西多摩郡小河内村ハ昭
和六年七月東京市第三賄水池ノ新設地ト
決定セラレタルモ爾來六年有餘之ニ對ス
ル市當局ノ措置ハ公正妥當ヲ缺キ爲ニ三
千ノ同村民現下ノ困窮甚大ナルモノアル
ハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ之カ救濟
ノ具體的方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村ハ昭和十三年
月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩
驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四
名呈出

右ノ請願ハ室蘭本線豊浦驛ヨリ眞狩別
村、留壽都村、喜茂別村ヲ經テ定山溪鐵
道定山溪驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ道南
地方ト札幌市トヲ連絡シ交通並國防上資
スル所大ナルノミナラス沿線地方ハ景勝
ニ富ミ之カ觀光路線トシテ亦貢獻スルニ
依リ速ニ同鐵道ヲ實現セラレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條
ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

水產食糧資源ノ確保培養ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ水產食糧ノ生產ヲ確保シ其ノ
供給ヲ豐富ナラシムルハ國民ノ生活安
定、體位向上ニ資スル所多大ナルニ依リ
一層沿岸漁業ノ調整、海洋漁業ノ振興ヲ
期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ
大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村救濟ニ關スル
件

東京府西多摩郡小河内村原五百九十
三番地土木請負業小澤康次外三百三
十八名呈出

右ノ請願ハ東京府西多摩郡小河内村ハ昭
和六年七月東京市第三賄水池ノ新設地ト
決定セラレタルモ爾來六年有餘之ニ對ス
ル市當局ノ措置ハ公正妥當ヲ缺キ爲ニ三
千ノ同村民現下ノ困窮甚大ナルモノアル
ハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ之カ救濟
ノ具體的方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村原五百九十
三番地土木請負業小澤康次外三百三
十八名呈出

右ノ請願ハ東京府西多摩郡小河内村ハ昭
和六年七月東京市第三賄水池ノ新設地ト
決定セラレタルモ爾來六年有餘之ニ對ス
ル市當局ノ措置ハ公正妥當ヲ缺キ爲ニ三
千ノ同村民現下ノ困窮甚大ナルモノアル
ハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ之カ救濟
ノ具體的方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩
驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四
名呈出

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

水產物ノ輸出振興ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ水產物ハ我國重要輸出品トシ
テ今後尙飛躍ヲ期待セシムルモノアルモ
テ今後尙飛躍ヲ期待セシムルモノアルモ
ス依テ速ニ之カ輸出振興ニ關シ諸般ノ施
設ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致
候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送
付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村原五百九十
三番地土木請負業小澤康次外三百三
十八名呈出

右ノ請願ハ東京府西多摩郡小河内村ハ昭
和六年七月東京市第三賄水池ノ新設地ト
決定セラレタルモ爾來六年有餘之ニ對ス
ル市當局ノ措置ハ公正妥當ヲ缺キ爲ニ三
千ノ同村民現下ノ困窮甚大ナルモノアル
ハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ之カ救濟
ノ具體的方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京府西多摩郡小河内村原五百九十
三番地土木請負業小澤康次外三百三
十八名呈出

右ノ請願ハ東京府西多摩郡小河内村ハ昭
和六年七月東京市第三賄水池ノ新設地ト
決定セラレタルモ爾來六年有餘之ニ對ス
ル市當局ノ措置ハ公正妥當ヲ缺キ爲ニ三
千ノ同村民現下ノ困窮甚大ナルモノアル
ハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ之カ救濟
ノ具體的方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩
驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四
名呈出

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

水產物ノ輸出振興ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ漁村金融體系ノ確立ニ關スル件
我國漁村ノ更生並水產業ノ進展上急務ナ
リ然ルニ襄ニ漁業法ヲ改正シテ漁業組合
制度ノ刷新ヲ期シ今ヤ水產金融制度ニ及
ハムトスルモ未十分ナラサルニ依リ速ニ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ漁村金融體系ノ確立ニ關スル件
我國漁村ノ更生並水產業ノ進展上急務ナ
リ然ルニ襄ニ漁業法ヲ改正シテ漁業組合
制度ノ刷新ヲ期シ今ヤ水產金融制度ニ及
ハムトスルモ未十分ナラサルニ依リ速ニ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩
驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四
名呈出

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

水產物ノ輸出振興ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ漁村金融體系ノ確立ニ關スル件
我國漁村ノ更生並水產業ノ進展上急務ナ
リ然ルニ襄ニ漁業法ヲ改正シテ漁業組合
制度ノ刷新ヲ期シ今ヤ水產金融制度ニ及
ハムトスルモ未十分ナラサルニ依リ速ニ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年月日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產
會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ漁村金融體系ノ確立ニ關スル件
我國漁村ノ更生並水產業ノ進展上急務ナ
リ然ルニ襄ニ漁業法ヲ改正シテ漁業組合
制度ノ刷新ヲ期シ今ヤ水產金融制度ニ及
ハムトスルモ未十分ナラサルニ依リ速ニ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩
驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四
名呈出

昭和十三年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽
内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

意見書案

官公立吃音矯正所設置ニ關スル件

大阪市東成區勝山通八丁目四十番地

教員松澤忠太外七名呈出

右ノ請願ハ我國民中吃音ナルカ爲天賦ノ能カヲ發揮シ得サルモノ頗ル多數ナルハ吃音者自身ノ不幸ナルノミナラス延テ國家ノ損失ナルニ依リ速ニ國費及地方費ヲ以テ官公立吃音矯正所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十三年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

○議長(伯爵松平賴壽君) 是等ノ請願ハ委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認ヌマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 次會ノ議事日程ハ決定次第稟報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十時五十七分散會